

令和6年度上半期公共工事契約状況

契約状況について

(単位：件)

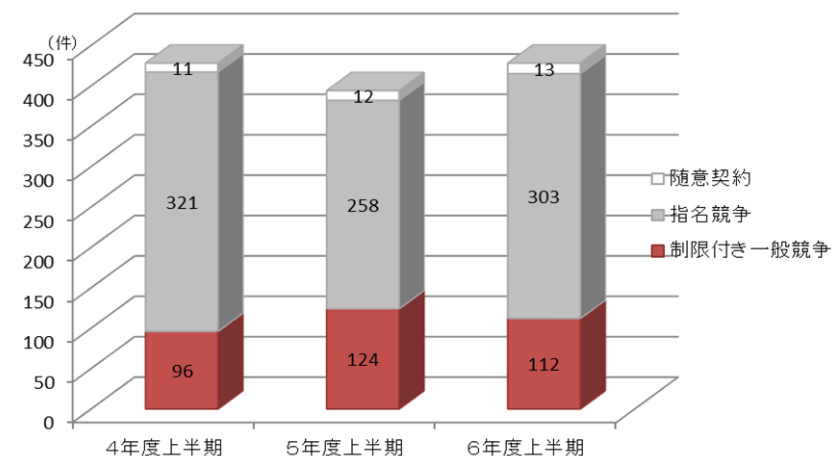
	4年度上半期	5年度上半期	6年度上半期
長岡市	334	337	369
(年度発注予定) ※	(423)	(407)	(481)
(契約率)	(79.0%)	(82.8%)	(76.7%)
制限付き一般競争	71	100	95
指名競争	256	230	261
随意契約	7	7	13
水道局	94	57	59
(年度発注予定) ※	(106)	(57)	(65)
(契約率)	(88.7%)	(100.0%)	(90.8%)
制限付き一般競争	25	24	17
指名競争	65	28	42
随意契約	4	5	0
合 計	428	394	428
(年度発注予定) ※	(529)	(464)	(546)
(契約率)	(80.9%)	(84.9%)	(78.4%)
制限付き一般競争	96	124	112
指名競争	321	258	303
随意契約	11	12	13

※令和4年度は9月28日現在、令和5年度は9月29日現在、令和6年度は9月30日現在の件数

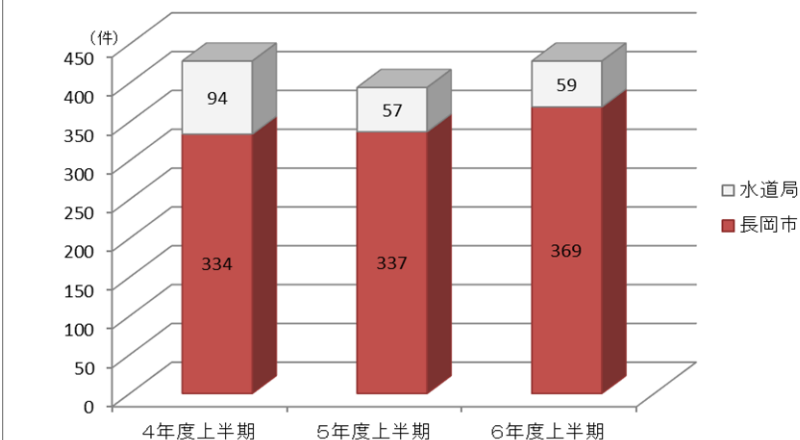
<契約状況の推移>

- ・長岡市の指名競争入札が前年より多くなった理由は、学校関係の無線LANやLED照明設備の電気工事の発注が43件あったためです。
- ・水道局の契約率が高い理由は、道路を掘削する管工事が多く、降雪前に管を布設し、道路の舗装復旧作業を完了しなければならないため、早期に発注している案件が多いからと考えられます。

【入札方式別】契約状況



【年度別】契約状況



資料No.4②

入札における不調・打ち切り状況

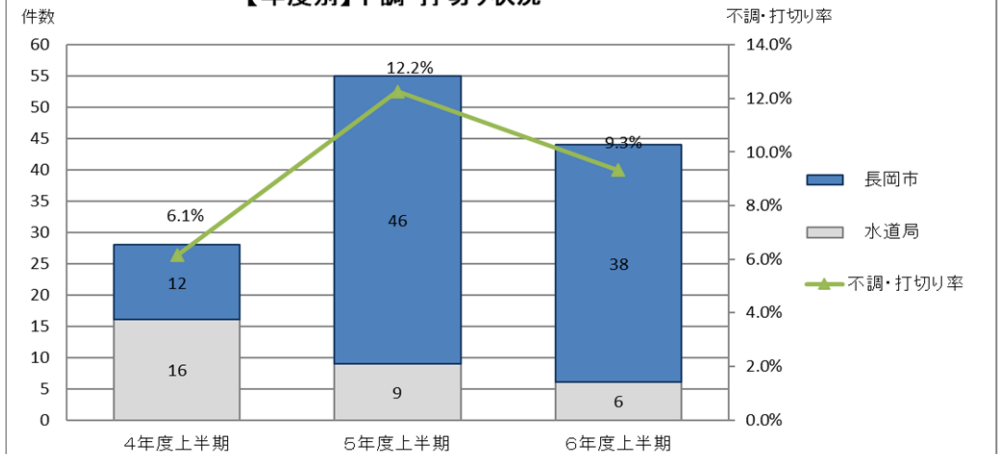
(単位:件)

区 分	理由	4年度上半期	5年度上半期	6年度上半期
不 調	① 下限価格以上の価格で入札をした者がいなかったため	3	3	2
	② 再入札での最低入札価格が予定価格を上回り、かつその差額が予定価格の10%に相当する額を超えたため	0	12	3
	③ 見積り合わせの結果予定価格に達しなかったため	0	2	0
打 切 り 取 止 め	④ 入札に参加する者がいなかったため	7	17	16
	⑤ 指名競争入札において入札に参加しようとする者が1者となったため	11	12	12
	⑥ 再入札において入札に参加する者がいなかったため	2	3	4
	⑦ 指名競争入札において再入札に参加しようとする者が1者となったため	3	2	2
	⑧ 事務処理誤り等のため	2	4	5
合 計 (a)		28	55	44
長 岡 市		12	46	38
水 道 局		16	9	6
契約件数(随意契約を含む) (b)		428	394	428
不調・打ち切り率 (a/(a+b))		6.1%	12.2%	9.3%

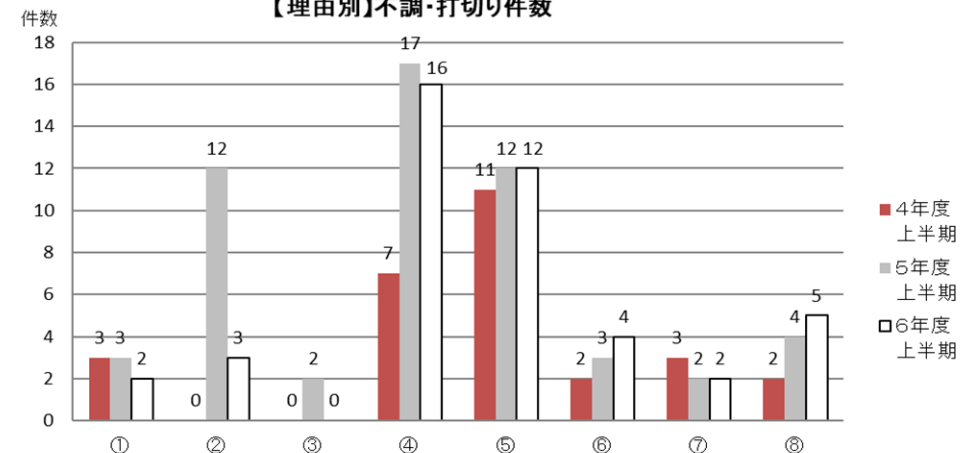
・不調(①～③)の件数が減った理由は、見積り単価を採用していて、積算がしにくい建築一式や管工事の不調件数が前年の15件から5件に減ったことが考えられます。

・打ち切り取止めの④と⑤の件数が多い理由として、電気工事の打ち切り取止めの件数が1件から10件に増えたことが考えられる。今年度は電気工事の発注が多く、技術者の配置などを考慮し、入札を控える業者がいたのではないかと考えられます。

【年度別】不調・打ち切り状況

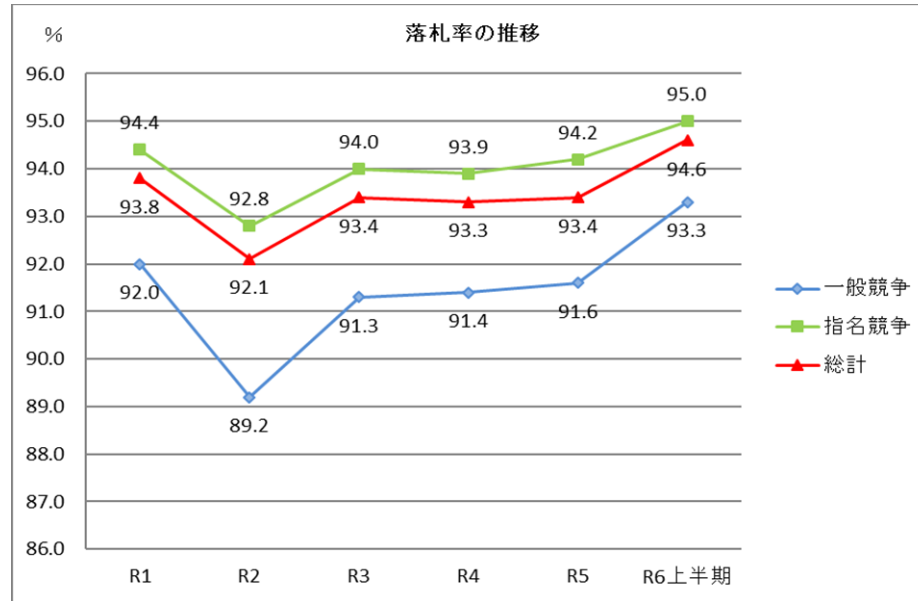


【理由別】不調・打ち切り件数



落札率の動向

年度		総計		指名競争入札		一般競争入札	
		件数	落札率	件数	落札率	件数	落札率
長岡市	元	584	93.8	458	94.4	126	91.8
	2	635	92.4	531	92.9	104	89.6
	3	533	93.5	426	93.9	107	91.6
	4	481	93.5	381	93.9	100	92.1
	5	325	93.6	228	94.2	97	91.8
	6上半期	343	94.7	253	95.0	90	93.6
水道局	元	101	93.8	64	94.4	37	92.8
	2	89	90.4	52	92.1	37	88.0
	3	101	93.0	64	94.4	37	90.6
	4	114	92.5	78	93.7	36	89.7
	5	52	92.1	28	93.4	24	90.6
	6上半期	55	94.0	40	95.0	15	91.3
全体	元	685	93.8	522	94.4	163	92.0
	2	724	92.1	583	92.8	141	89.2
	3	634	93.4	490	94.0	144	91.3
	4	595	93.3	459	93.9	136	91.4
	5	377	93.4	256	94.2	121	91.6
	6上半期	398	94.6	293	95.0	105	93.3



＜落札率の増減理由＞

- ・令和2年1月20日に変動型最低制限価格制度を導入したことにより、令和2年度の落札率が低下したと考えられます。
- ・令和3年1月4日に変動型最低制限価格制度の一部を改正し、下限価格の算定係数を85%から88%に変更したことにより、令和3年度上半期の落札率が上昇したと考えられます。
- ・令和4年3月1日に変動型最低制限価格制度の一部を改正し、一般競争入札の土木一式工事で、有効入札数6者以上の建設工事に中央値を適用しているが、中央値を適用した件数が少ないため、落札率への影響は見られません。
- ・令和5年3月1日に変動型最低制限価格制度の一部を改正し、一般競争入札における中央値の対象工種を全ての工種に拡大したが、落札率は令和4年度と横ばいの数値となりました。
- ・令和6年3月1日に変動型最低制限価格制度の一部を改正し、下限価格の算定係数を88%から90%に変更したことにより、令和6年度上半期の落札率が上昇したと考えられます。